

矢板の工場紹介

市内には技術力や業界シェアが高い工場が多く存在します。よく名前を聞く会社だけど仕事内容・技術力は知らない…なんてことはありませんか？皆さんが知っているようで知らない市内工場の魅力をお伝えします！

「あったらいいな！」を

どんどん商品に！

株式会社日省エンジニアリング



●会社の概要
一九八三年に車の燃焼改善装置製造会社として設立し、以降、災害時や緊急時に対応できる超小型携帯発電機や水道給水栓に取り付けるオゾン水生成器な

矢板市中に、エネルギーや環境問題に貢献する製品を作っている会社、(株)日省エンジニアリングがあります。平久井健三社長、総務の平久井順那さんにお話を伺い、製品の説明を受けました。

●会社の特長
「健康」「環境」「食」を三本の柱として、同社の向かう方向を改良・更新しながら、「省」をテーマとした製品の開発を行っています。

●製品について
健康に寄与する製品としては、水素生成器などを製造しています。独自の電気分解方式により、水素と酸素を分



水素生成器

離し、水素の溶け込んだ水を飲用したり、発生した水素ガスを鼻から吸い込んだりして使います。医療、スポーツ、美容、福祉関係を中心に注目を集めています。
環境に寄与する製品としては、手のひらサイズの食用油酸化還元装置を製造しています。油の酸化による劣化を抑制し、長持ちさせることでコストを大幅に削減します。揚げ物も



食用油酸化還元装置



カラッとジュシーに揚がります。(実際に使用しているお店からは、廃油の量が減ったという高評価を得ています。)
食の面では、自社で開発した有機物磁気熱分解エネルギー変換装置(ごみ分解装置)で発生した電気を活用し、イチゴ栽培の実証試験をしています。イチゴを選んだのは作物の中で水耕栽培が難しく、成功すれば成果がわかりやすいからです。今後さらには、含水

率が高い汚泥、食品廃棄物などの乾燥機を開発し、エネルギー問題や環境問題が騒がれている地球に少しづつ貢献していきたいと考えられています。

(記者の感想)

現在、水素生成器はリンク栃木フレックスや矢板中央高校サッカー部で使用されているそうです。

東京ビックサイトで年2回、新製品展示会があることも納得できます。紙面にて紹介しきれない製品もたくさんあり、目の離せない会社です。これらの商品は取扱店だけではなく、直接日省エンジニアリングでも購入することができますよ。(T・T)

●問い合わせ
株式会社
日省エンジニアリング
住所：中六〇一八
電話：(四三)五七七〇